

Kashiwa GIGA Practical Cases

1人1台端末

活用事例リーフレット

2022

柏市教育委員会

本リーフレットに掲載されている事例は、柏市の教職員からなる【1人1台端末を活用した授業改善検討委員会】のメンバーによって作成したものです。

「情報活用能力育成の視点での授業計画及び実践」を行い、その事例を掲載しています。指導案等の詳細は「柏市 GIGAWEB」に掲載してあります。ぜひご活用ください。



※活用しているソフトウェア名については紙面の都合上、正式名称の略称で記載していることを申し添えます。

小1

算数

かたちあそび

カメラ
Jamboard

○身の回りにある箱や缶の組み合わせから形への意識を高め、その後、学校の中で見つけた様々な形を iPad で撮影する。それらを Jamboard に上げて、グループ内で共有し、捉えた特徴ごとに形の仲間分けを行い発表した。Jamboard でのクラウド活用によって、他の班のまとめ方も参考にしながら何度もやり直して自分たちの班の発表資料をまとめることができた。



実践者 井野瀬 歩

小2

図工

しぜんからのおくりもので

カメラ スライド
Jamboard

○校庭で秋に見られる自然材料を見つけ、それらを組み合わせて作品を作りカメラで写真を撮る。Jamboard を使い、友達と互いの作品について説明やアドバイスを伝え合いそれを参考に作品を改善し、カメラで撮影する。その後、スライドを使って紹介資料を作り1年生に紹介する。Jamboard を使うことで、話し合い時のコミュニケーションを円滑に行うことができた。



実践者 山田 健二

小3

社会

火事からくらしを守る

Jamboard
Meet Forms

○教科書の火事のイラストから気づいたことを Jamboard で共有する。事前学習で質問等を考え、Meet を使ってオンライン消防署見学やインタビューをした。見学を通じた気づきや疑問をチャットで共有し理解を深めた。これまで学習してきたことを基に Forms でクイズを作り、他校の3年生に答えてもらう。個別に Meet で見学に参加したため2時間集中して取り組めた。



実践者 杉山 雄太

小4

図工

学校もりあげマスコット

Forms
描画キャンバス

○学校生活が楽しくなる学校盛り上げマスコットを作成するため、教職員や全校児童に Forms でアンケートを行い、マスコットに必要な要素を調査した。結果を基に条件を整理し、テーマに沿ったマスコットを描画キャンバスで作成する。完成後に全校にマスコットを紹介し Forms でアンケートを行う。アンケートを行ったことで意欲や達成感につながる姿が見られた。



実践者 伊藤 茉莉亜

小5

理科

流れる水のはたらきと
土地の変化

Jamboard
スライド

○様々な川の写真から気づいたことや思ったことを Jamboard で共有し、洪水や豪雨による災害について仕組みや理由を調べ、グループ・全体で共有する。調べたことを基に水の量を変えて実験を行い、水の量と流れる水の働き
の関係を確かめまとめる。まとめたことを基に災害に備える工夫を考えス
ライドにまとめる。共有した情報を繋いだり整理する姿が見られた。



実践者 西牧 諭史

小5

総合

私たちの SDG s

スプレッドシート
スライド Jamboard

○Jamboard を使い、学校や身の周りで SDG s に関する問題点を挙げ、自分
達にできる事を考え、実現可能かを確認する。それをスライドにまとめ、グ
ループ内で発表し、グループ代表を決め、改善できるところを話し合いブラ
ッシュアップする。完成したら学級内で発表し、全体で実践したい取組み
を選び実行する。情報共有する中で多角的視点で調査・追及する姿が見られた。



実践者 森下 真大

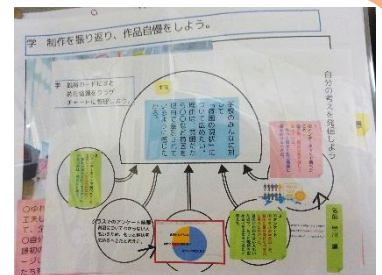
小6

国語

自分の考えを発信しよう

コラボノート
スプレッドシート

○意見文に書いてみたい課題を設定し、説得力ある内容にするために必要
な情報をアンケートやインターネット等内容に合った方法で収集する。思考
ツールを使いコラボノート上で集めた情報を精査する。グループワークで各
自の主張を効果的に伝えるための工夫について話し合い構成を考えて意見
文を書く。グループワークを通して文章を十分に吟味して練り直すことができた。



実践者 芝井 祐太郎

小6

社会

戦国の世から天下統一へ

Jamboard
スライド

○織田信長と豊臣秀吉にかかわる事象から、戦国時代の統一への大きな役割
を果たしたのはどちらかを考える課題を与えた。「戦い」「外国」「国内」の
視点で資料を読み情報を収集する。その後、Jamboard を使いグループで意
見交換し、自分の考えをまとめスライドを作成する。端末を活用し考える時
間を十分に確保したことで知識がつながり深い学びが実現できた。



実践者 石神 喜寛

中1

国語

故事成語 - 中国の名言 -

スライド

○自分流故事成語を作成し発表することを課題とした。教科書にある故事成
語を学んだ後に、インターネットを利用して様々な故事成語を調べ、自分の
作品の材料を収集する。その中から自分なりのエピソードや由来等から発想
を持ち、集めた情報を精選した上で自分流故事成語を作成し、基となった故
事成語と共にスライドにまとめる。情報収集と伝達のツールとして活用できた。



実践者 平原 信正

中1

理科

力のはたらき

スライド

○力の働きと種類等を学習後、月面や無重力環境を生かしたアトラクションが体験できるテーマパークを考えプレゼンを行うことを提示する。端末を活用し、無重力下での物の運動や、興味あるアトラクションの情報を収集する。班でテーマパークのコンセプトを考え情報を整理分析し、アトラクションを考えスライドにまとめる。自分で物理法則を調べ知識を獲得する姿が見られた。実践者 三原 学



中2

社会

日本の諸地域

スライド
Kahoot!

○関東以外の6つの地方を1つ1班で担当し、様々な事象を地域的特色を基に追及し発表する。各班ごとに集めた情報をKeepにまとめ共有する。それらを基に比較検討しスライドや問題作成ツールKahoot!を作成する。発表に対し、Formsで評価を行い学習を振り返る。協働作業では、情報をテキスト化したり仮想デスクトップで複数の情報を比較したりする姿が見られた。



実践者 石塚 大介

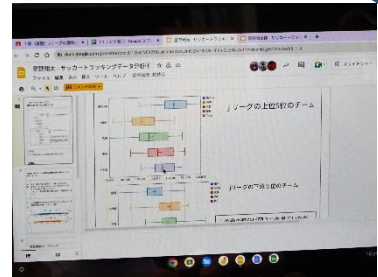
中2

数学

データの分布

スプレッドシート
スライド SGRAPA

○データの分布の学習で「サッカーJ1リーグで運動量と勝敗には関係があるのか」を単元を貫く問いに設定し、情報活用能力の育成を目指す。四分位数・箱ひげ図を習得後、Jリーグトラッキングデータを資料として複数のデータを箱ひげ図等に表し比較・整理・分析し、スライドにデータと考察をまとめる。答えが無数にある学習の為、多様な考えを認め合う姿が見られた。



実践者 長谷川 友一

中3

英語

あなたの国を世界にPRしよう

Jamboard
スライド

○1班1地域を担当し自国の誇れるものをALTにプレゼンする課題を設定する。教科書の動画を参考にPRする際に大切な要素を検討し、担当地域の魅力を端末で調べJamboardでマッピングや、スプレッドシートで共有して最後にスライドにまとめる。発表の際には、アイコンタクトや声のボリューム、ジェスチャーや言葉選びも検討して魅力的な発表をする姿が見られた。



実践者 宇佐美 奈々恵

【1人1台端末を活用した授業改善検討委員会】

〈委員長〉

柏市立手賀東小学校 佐和 伸明

〈委員〉

柏市立逆井小学校 竹森 正人

柏市立柏第三小学校 井野瀬 歩

柏市立柏第五小学校 西牧 諭史

柏市立西原小学校 石神 喜寛

〈委員〉

柏市立高田小学校

柏市立旭東小学校

柏市立花野井小学校

柏市立松葉第二小学校

柏市立大津ヶ丘第一小学校

柏市立柏第三中学校

〈委員〉

柏市立柏第四中学校 石塚 大介

柏市立南部中学校 三原 学

柏市立西原中学校 宇佐美 奈々恵

柏市立柏の葉中学校 長谷川 友一

〈事務局〉

柏市教育委員会 学校教育部 指導課

森下 真大

芝井 祐太郎

山田 健二

伊藤 茉梨亜

杉山 雄太

平原 信正